

みつゐ病院便り 第24号

玉野三井病院

平成20年5月

706-0012 岡山県玉野市玉3-2-1 TEL:0863-31-4187 FAX:0863-23-2084
URL:http://www.harenet.ne.jp/tamano-mitsui-hp/ E-mail:mitsuihp@mes.co.jp

ご挨拶

院長 才野 進

平成20年2月6日(水)、群馬県前橋市民文化会館大ホールで第11回地域保健全国大会が開催され、当院院長 才野進が、岡山県病院協会の推薦を受け、地域の中核病院の医師として健康診査、各種検診、健康教育等医療の充実・向上に尽力したこと、看護職員の養成にも努め、公衆衛生の普及と向上に貢献したこと等が総合的に評価され「平成19年度公衆衛生事業功労者」として、厚生労働大臣より表彰を受けました。



地域保健全国大会開催趣旨「全ての住民が、生涯を通じて快適な生活環境の中で、心身ともに健康で生きがいのある生活を送ることができる地域社会を築くため、全国の地域保健関係者が一堂に会し、地域保健の今後の展望と問題点を検討することにより、今後の地域保健対策の充実と実践活動の効果的な推進を図る。」

才野院長談；

このように名誉ある賞を賜りましたのは、ひとえに、玉野三井病院を長年支えていただき

ました地域の皆様のお蔭であり、また、病院協会を始めとします関係先皆様のご指導によるものと肝に銘じております。これからは、職員共々、更なる研鑽をして皆様方に今以上の医療奉仕でお返りする所存です。



GE社の超音波診断装置 - LOGIQe -

副院長 三宅 三喜男

この度当院では、携帯用の超音波診断装置を新たに設備しました。この紙面をお借りして、超音波検査の説明やこの装置の紹介を簡単にさせていただきます。超音波診断装置は潜水艦のソナーのようなもので、音波を物体に当てその反射波を解析することで、物体の構造を描出するような検査装置です。体表面から内臓を観察することが可能で、肝臓疾患や胆石症、膵臓疾患、腎臓疾患、甲状腺疾患、乳腺疾患、また心臓疾患や動脈硬化症など様々な疾患の診断に寄与しております。超音波検査は、ただ身体に端子を当てるだけで臓器の画像診断が出来る、無侵襲で簡便な極めて有益な検査であります。



当院には、高性能コンソール型超音波診断装置、東芝 Aplio が既に検査室に装備されていますが、機体が大きく重量があるため、移動が大変という欠点がありました。この欠点を補うため、本年度購入した GE 社の LOGIQe は、ノートパソコン並みの大きさでしかも軽量ですが、従来の大型機種に劣らない性能を持っています。この機種を用いれば、携帯して移動することが簡単で、どんな場所でも高度な超音波検査ができます。また、超音波検査装置の触角とも言える端子（プローブ）も4種類装備しました。乳腺・甲状腺・頸動脈エコー用のリニアプローブ、腹部エコー用のコンベックスプローブ、心エコー用プローブ、手術時に使用する術中用プローブです。また、リニア並びにコンベックスプローブには、エコー下穿刺検査時に使用する専用穿刺ガイドもそれぞれ準備しています。検査した画像は、白黒用とカラー用のプリンターですぐに印刷できるようにしています。

この超音波装置により、動けない患者様でもそのベッドサイドで必要な超音波検査が出来ますし、ベッドサイドや外来の適切な場所で各種穿刺検査が可能となります。また、手術中に直接臓器に端子を当てて超音波検査が出来るようになり、切除範囲の決定など、より正確な手術的処置が可能となります。患者様のご要望に応じた場所でこの検査装置を積極的に使用し、より精度の高い診療に勤めたいとスタッフ一同頑張る所存であります。

新任医師の紹介

内科医長 筒井 英太

4月1日より内科で勤務させていただいております。
主に外来を担当させていただいています。専門は呼吸不全で、特に禁煙支援を行っています。なかなか禁煙出来ずに困っている方は受診してください。



内科 筒井 英太(つつい ひでた)
日本内科学会認定内科医、日本呼吸器学会専門医

内視鏡洗滌消毒装置を更新しました！

2月に更新した内視鏡洗滌消毒装置 OER-3 は従来機種と同じ設置面積でありながら、スコープの「2本処理」が可能です。更に洗浄履歴管理システムにより「いつ」「だれが」「どのスコープを」「どの装置で」洗浄消毒したのか、履歴を残すことができるので、未消毒等のヒューマンエラーを防止出来ます。



携帯型睡眠検査装置 LS-100 のご紹介

查技長 高津 昌吾

睡眠時無呼吸症候群の正確な診断には、入院して脳波のほか多数のセンサーを着けての検査が必須ですが、その前段階の検査としてご自宅のできる検査があります。

このたび導入した携帯型睡眠装置LS-100は、鼻と指先の2箇所にセンサーを装着するだけで、呼吸、いびき、血液の酸素の状態を計測することができます。

この4月からは特定健診も実施され、肥満と密接な関係にある睡眠時無呼吸症候群の検査を受ける機会も増えてくるかと思えます。これに合わせ、簡単でより正確に身体状態の把握ができる機器を導入し、皆様の健康を守るために活用して行きます。



眼科のレンズ・メーターを更新しました！

眼科医長 筒井 康子

患者さんの眼鏡レンズの度数をしらべるのには、レンズ・メーターという装置を使いますが、当院では、4月から新しいレンズ・メーターを導入しました。今回の機種では、従来のもものと違い、累進多焦点レンズの測定が可能になりました。つまり、いわゆる境目のない遠近両用メガネの度数もしらべることができるようになりました。

最近メガネをかけてもなんとなくはっきり見えないような気がするというあなた！悩んでいてもしかたがありません。現在使っているメガネを持って眼科へ行ってみましょう。解決策が見つかるかもしれませんよ。



病室にセフティボックスを設置しました！

入院中の患者様のプライバシーと貴重品を守る目的で3月にセフティボックスK-2を病室に設置しました。紙幣用財布がスッポリ入る大きさです。扉の開閉が簡単で、手の不自由な方でもご利用頂けます。更に、金庫本体にこじ開け防止対策(ボトルロックシステム採用)が施されており、盗難対策も万全ですので部屋を離れるときも安心できると思います。



盗難対策も万全です。



各床頭台の引き出しに固定しています。

患者様の権利について

私たちは患者様の権利を尊重し、信頼関係を築き患者様中心のあたたかい医療の実践に努めます。

1. 患者様の意思を尊重し満足される医療を提供いたします。
2. 治療の説明を受け、選択や拒否ができるように致します。
3. プライバシーを尊重いたします。

病院理念

1. 21世紀における最も大切な人間の生活の質を向上させる医療を分担する。
2. 患者様に優しい医療、インフォームドコンセントを重視した医療を提供する。
3. 全職員が医療人としての使命感と誇りを持った医療を心掛ける。